国語科学習指導略案

3年2組 32名 指導者 星原貴光

本授業では、以下のような検証を行うものである。

登場人物の行動や会話などの叙述から、性格や人柄、気持ちの変化などを想像して読むことで、自分と登場人物とを比べて読んだり、読んだ感想をまとめたりすることができたか。

1 単 元 読んで、考えたことを発表しよう 「海をかっとばせ」

2 指導計画(総時数8時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
課題をつかむ	1 教材文「海をかっとばせ」を読んで,主人公「ワタル」と自分の似ていると	1
	ころや違うところを中心に初発の感想を発表し合う。	
	2 学習課題を設定し、学習計画を協議する。	
	人物と自分を比べながら読み、感想をもとう。	
	【関:登場人物と自分を比べながら意欲的に読もうとしている。】	
	3 「本は友だち」を参考に、読書記録の付け方を確認したり、読みたい本を探	1
	したりして読書計画を立て,並行読書を進める。	
情報を読み取る表現する情報をもとに考える主体的に	4 場面毎に「ワタル」の行動や会話などの叙述をもとに、自分と比べながら、	2
	性格や気持ちの変化を想像して読む。	
	【読:登場人物の行動や会話などの叙述をもとに、性格や気持ちの変化などを想	
	像して読んでいる。】	
	5 読んだことをもとに自分の考え(共感・反発,疑問など)を感想にまとめる。	1
	【読:自分の考えや考えの根拠となる叙述を明確にしながら、読んだ感想を短い	(本時)
	文章にまとめている。	
	6 様子を表す語句を取り出して、文中における修飾・被修飾の関係を捉えたり、	1
	他の言葉に置き換えて語感の違いを考えたりする。	
	【言:語句には性質や役割の上で,類別があることを理解している。】	
	7 これまでに並行読書してきた本の中から、気に入った物語を選び、自分の感	
	想(共感・反発・疑問など)をまとめ、発表し合う。	2
	【読:文章を読んで考えたことを発表し合い,一人一人の感じ方について違いが	
.5 (5	あることに気付いている。】	

3 本 時(5/8)

(1) 目 標

登場人物の行動や会話などの叙述をもとに、性格や人柄、気持ちの変化などを想像して読み、 短い文章で感想をまとめることができるようにする。

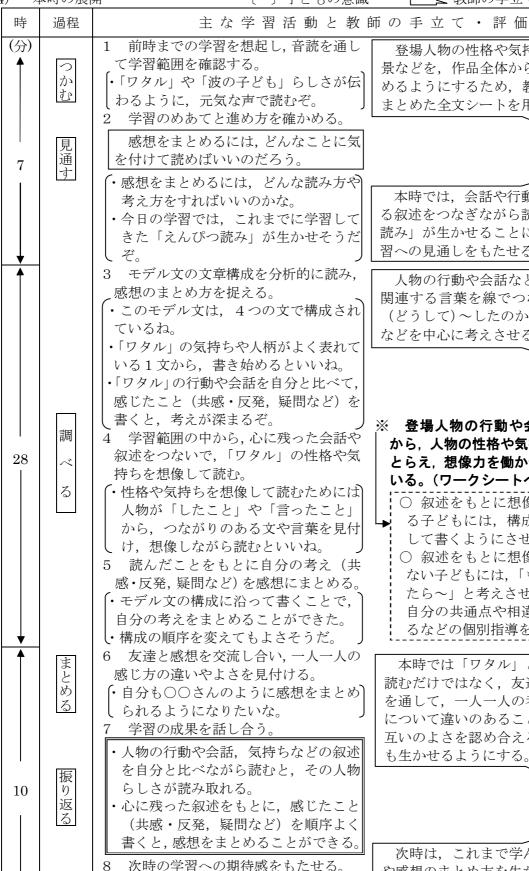
- (2) 評価規準
 - 登場人物と自分を比べながら意欲的に読もうとしている。【国語への関心・意欲・態度】
 - 自分の考えや考えの根拠となる叙述を明確にし、読んだ感想をまとめている。【読む能力】
 - 文中から様子を表す言葉を探して書き出している。【言語についての知識・理解・技能】
- (3) 指導に当たって

子どもたちは、これまで多くの物語を読んできている。しかし、自分と登場人物とを比べながら読んだり、感想をまとめたりした経験はあまりない。そこで、本単元では、「人物と自分を比べて読む」読み方や「読んだことをもとに自分の感想をもつ」という考え方を、授業の中で具体的に身に付けさせていきたい。

そのために、導入の段階では、モデルとする感想文の文章構成を分析させながら、どの叙述に着目して読めばよいか、また、叙述をもとにどのように考えればよいかを確認させていく。

展開の段階では、「ワタル」の行動や会話を取り出し、関連する叙述をつなぐことで、人物の性格や人柄、気持ちの変化などを想像して読ませていくようにする。

終末の段階では、モデル文を参考にさせながら、本時で読み取った「ワタル」の性格や人柄、気持ちの変化などを自分と比べて考えさせながら、短い感想にまとめさせていく。



登場人物の性格や気持ちの変化,情 景などを, 作品全体から関連付けて読 めるようにするため、教材文を1枚に まとめた全文シートを用意しておく。

本時では,会話や行動など,関連す る叙述をつなぎながら読む「えんぴつ 読み」が生かせることに気付かせ、学 習への見通しをもたせる。

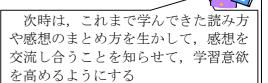
人物の行動や会話などの叙述から, 関連する言葉を線でつながせ,「なぜ (どうして)~したのか(言ったのか)」 などを中心に考えさせるようにする。



登場人物の行動や会話などの叙述 から、人物の性格や気持ちを関連的に とらえ、想像力を働かせながら読んで いる。(ワークシートへの書き込み)

- 叙述をもとに想像して読めてい る子どもには、構成の順序を工夫 して書くようにさせる。
 - 叙述をもとに想像して読めてい ない子どもには、「もし、自分だっ たら~」と考えさせ、「ワタル」と 自分の共通点や相違点を考えさせ るなどの個別指導を行う。

本時では「ワタル」と自分を比べて 読むだけではなく,友達との感想交流 を通して,一人一人の考え方,感じ方 について違いのあることに気付かせ, 互いのよさを認め合える学級づくりに も生かせるようにする。



[· 次の学習では、様子を表す言葉を集め]

て文を作ったり,並行読書を進めたりし

、て、読み取りを深めていくぞ。